

12/22 遠くの仲間と一緒に授業 洞爺湖温泉小学校リモート授業実施

洞 爺湖温泉小学校（柿崎秀顕校長）の3・4年生の児童計8人が福岡市立勝馬小学校の3・4年生の児童計13人とリモート授業を実施しました。

担任の先生が、複式学級で少人数の子どもたちに、他の学校の児童と考えを出し合う機会を与えたいという願いからリモートでの授業を企画し実現。一緒に国語の授業を行いました。

授業を受けた児童は「新しい友達ができたみたいだった」と楽しそうに話しました。



リモート授業を受ける子どもたち

12/18 コロナに負けないために 洞爺湖ロータリークラブ マスクケース寄贈

洞 爺湖ロータリークラブ（RC、三浦潤介会長）は、町にマスクケース100枚を寄贈し、真屋町長に手渡しました。

マスクケースの作成は、同RC社会奉仕委員長小田原香織さん自身が食事をしているときにマスクの置き場に困ったことがきっかけ。マスクケースは布をミシンや手で縫い、消毒液を散布。1枚ずつ丁寧に袋詰めされ、「コロナに負けない。頑張ろう洞爺湖」とメッセージが添えられています。



手作りマスクケースを寄贈した洞爺湖RCの小田原さん（中央）

12/24 町と北海道日本ハムファイターズを盛り上げよう 北海道日本ハムファイターズ球団職員表敬訪問

北 海道179市町村応援大使2021に洞爺湖町が当選し、北海道日本ハムファイターズ球団職員が真屋町長を表敬訪問しました。

町の応援大使に決定している掘選手、バーヘイゲン選手、秋吉選手や球団と共に、今年1年間、まちづくりの一環として実施する行事やイベントなどについて報告を受けました。

真屋町長は「みんなで応援して一緒に盛り上げていきたい」と話しました。



真屋町長を表敬訪問した酒井恭佑ディレクター（右）

12/23 町民や観光客の憩いの場に 「夕日が浜公園」と命名

商 工会地域活性化特別委員会と虻田3区自治会の要望で整備が進んでいた公園が完成し、町民からの公募により「夕日が浜公園」と命名されました。公園は駅前大通線海側の海浜地に整備し、海と慣れ親しむことができる新たな観光スポットとして期待されます。

名称を考案した高清水幸夫さんは「子どものころから見てきたきれいな夕日には思い入れがあるので、率直にうれしいです」と話しました。



「夕日が浜公園」の名称を考案した高清水幸夫さん